

1 学校名・教科型

府中市立府中学園 4教科型

2 学校の概要

学級数及び児童数(R6.12.1現在)

	通常学級							特支学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
児童数	60	69	70	73	87	87	446	57	503
学級数	2	2	2	3	3	3	15	9	24

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
5年1組 (担任：A)	B	専科	A	C	A	専科	専科	E	推進	A	A	A	専科
5年2組 (担任：B)	B	専科	C	B	A	専科	専科	E	推進	B	B	B	専科
5年3組 (担任：C)	B	専科	A	C	A	専科	専科	E	推進	C	C	C	専科

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年1組 (担任：D)	専科	専科	D	専科	E	D	専科	E	推進	D	D	D	F
6年2組 (担任：E)	F	専科	D	専科	E	D	専科	E	推進	E	E	E	F
6年3組 (担任：F)	F	専科	D	専科	E	D	専科	E	推進	F	F	F	F

4 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

<効果のあった取組>

- ① 専門性を生かした専科授業
- ② 担当以外の教員が児童に関わることによる多面的な児童理解
- ③ 空き時間の活用



<成果>

- ① 1つの教科を複数の学級で授業することにより、授業研究の推進につなげることができた。また、児童アンケート実施の結果、「体育が好き」と答えた児童が5月90%から12月96.5%と増えた。
- ② 担任だけでなく、複数の教員の目があることで、様々な視点から児童を見守り、児童理解が深まったり、組織的に生徒指導に取り組み、学級経営の支援を行ったりすることができた。
- ③ 1週間のもち時間が減り、空いた時間に授業準備や学級業務、分掌の仕事に費やす時間を確保することができた。

<課題>

- ① 複数の教員が関わることで指導の基準にズレがでたり、タイムリーな情報共有ができなかったケースがあったりして、児童の混乱をまねくことがあった。
- ② 特別な支援を必要とする児童にとっては、教科によって授業者が変わることで、慣れるまで落ち着かない状況がみられることがあった。



<対策>

- ① 児童の様子などについて専科教員と適宜交流をしたり、毎日の学年会で児童の様子を交流したりすることで、学級の状況を把握する。学年での決まり事や児童の目指す姿を専科教員も含めて確認し、全員で同じ指導をする。
- ② 学年や学級全体で授業のやり方をそろえる。また、学級内の配慮が必要な児童を確認することやそのような児童に対して、どのような支援をするのがよいのか互いに共有する。